



たいわ

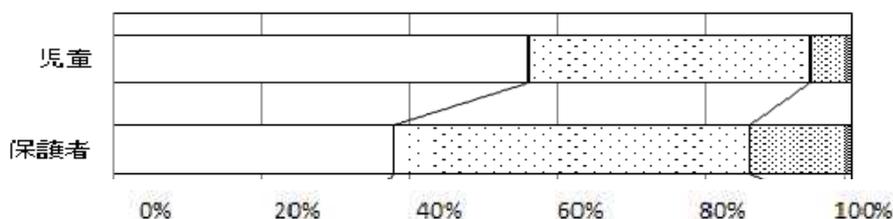
平成30年度
学校だより
3月号外

先日は、「学校教育に関するアンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。その結果の概要を、アンケートの結果とともにお知らせいたします。

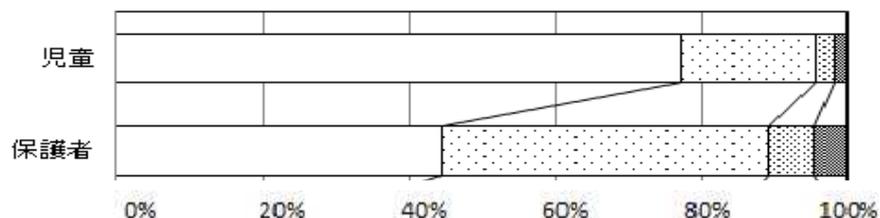
学校関係者委員会では、この結果を基に、子ども同士が意見を交換しやすいあたたかい雰囲気が学校にあること、また学校生活の中で様々な体験をすることができることを今後も継続して欲しいとのご意見をいただきました。

【重点目標】 □はい ■どちらかといえば はい ■どちらかといえばいいえ ■いいえ

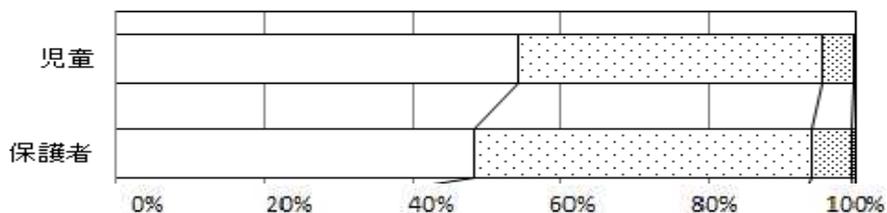
① 児童は新しいこと、困難のことにも挑戦しようとしている。



② 児童は自分のことやまわりの取り組みを肯定的にとらえられている。



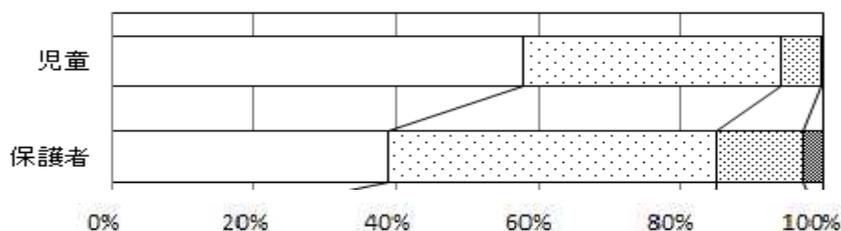
③ 児童は、まわりのことも考えて行動できるような心の成長を目指している。



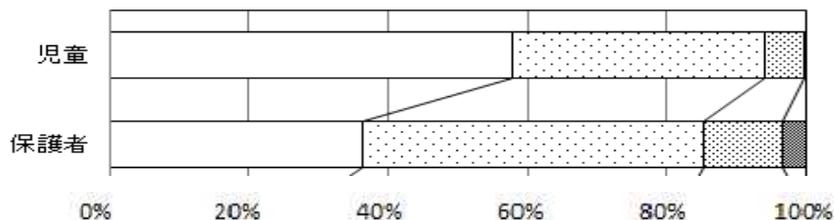
「心の成長」を重点目標に掲げて本年度で4年目となります。まわりのことを考えて行動できる児童が多く見られるようになりました。困っている友達に声を掛けたり、手をさしのべたりすることが、当たり前のこととして頭で理解され、それを行動できる児童の姿を様々な場面で目にすることができるようになりました。学校では、この姿をもっと広げていけるよう、指導を続けていきます。

【学校努力点】 □はい ■どちらかといえば はい ■どちらかといえばいい ■いい

④ 児童は道徳の授業に積極的に取り組み、自分の意見をもつことができている。



⑤ 道徳の授業において、自分の意見をよりよい考えに高めようとしていた。



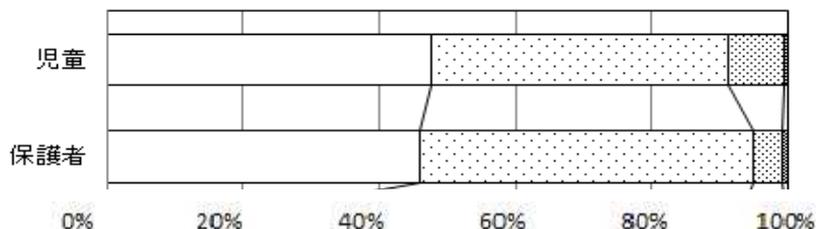
学校では、(1) 自分の考えをもつ。(2) 仲間同士、意見を聞き合う。(3) より自分の考えを深める。といったことを基本に授業を展開できるよう、今年度取り組んできました。その結果、ある事象に対してまず、自分の考えを明らかにすることは、その後、自分の考えを深める上でも、重要なポイントであることが分かりました。

【生徒指導】 □はい ■どちらかといえば はい ■どちらかといえばいい ■いい

⑥ 児童は学校を楽しんでいる。



⑦ 児童はけじめのある生活をしている。



「けじめのある生活をしている」という面では、細かなことではあるが、時間を守る、大きな声であいさつする、身の回りの整理整頓など生活面でまだまだ身に付いていない部分が目に付くのも現状です。基本的習慣を身に付けることでけじめのある生活を送れるよう、今後も継続して指導続けていきます。